授業科目	動物愛調	護・適正飼養関連法規			担当教員	前鼻 彰人				
対象年次・学期	愛玩動物	物看護的	研学科 2 年・後	必作	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	8 🗆	時間数	15 時間		
授業目的	動物の看護及び適正飼育に関する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。									
到達目標		愛護・適正飼養関連行政法規や社会福祉・環境衛生法規、野生動物等に関わる法律及び条約につ いて理解する。								
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ5巻 公衆衛生学/動物看護関連法規/愛玩動 物・適正飼養関連法規									
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・	レポー	<u> </u>		=TV/TE=	験:70%					
評価基準	小テス	 	30		スト:30%					
	提出物									
	その他									
履修上の 留意事項										
履修主題・			履修主題			履修P	内容			
履修内容	1	愛玩· 1	適正飼養関連法	規	動物の愛護及び管理に関する法律の理解①					
	2	愛玩· 2	適正飼養関連法	規	動物の愛護及	なび管理に関する流	法律の理解①	←②?		
	3	3	適正飼養関連法		愛玩動物用館 スト	別料の安全性の確例	₹に関する法	律の理解、小テ		
	4	政 1			身体障がい者	省補助犬法				
	5	政 2			廃棄物の処理	スト				
	6	政 3		化製場等に関する法律 						
	7	1	物等に関わる法	生物多様性、外米生物法、種の保存法、烏獣保護法						
	8	野生重2	か等に関わる法	会理	ワシントン条 護法、小テス	≦約、ラムサール乳 <ト	≦約、自然公 	園法、文化財保		

授業科目	動物愛護・適正飼養関連法規	担当教員	前鼻	彰力	(動物病院
汉朱竹口	划彻交迟 巡止附误闲压从外	実務 経験	有:▮		無:□	אַן אַרונער נעבּ
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年 · 後期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物看	在学#	<u> </u>		担当教員	中山 美帆					
以未行口											
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	研学科 2 年・前	必何	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。										
到達目標	動物看護の基本となる概念を把握し、動物看護の提供体制、愛玩動物看護師の社会的立場を理解する。										
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ4巻 動物看護学概論/人と動物の関係学/生 命倫理・動物福祉										
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー		0	評価調	式験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物		0								
履修上の 留意事項	~ の他		0								
	□										
履修主題・ 履修内容	1	獣医療		1	獣医療の歴史		177				
	2			2	獣医療倫理						
	3	獣医療	寮の歴史と概念	3	動物看護の歴						
	4	獣医療	寮の歴史と概念	4	国際的な動物	7看護師との比較・	小テスト				
	5	動物看	f護学 1		動物看護理論	Ħ					
	6	動物和	f護学 2		動物看護学 <i>σ</i>)成立と高等教育					
	7	愛玩重	助物看護師 1		誕生への道の) (1) (1)					
	8		动物看護師 2		誕生への道の	り②・小テスト					
	9	動物和1	≨護師の役割と概	念 -	動物看護とは	t					
	10	動物和 2	 i護師の役割と概	[念	動物看護倫理						
	11		 護師の役割と概	念	動物看護倫理	12					
	12	_	手護師の役割と 概	念	動物の福祉・	健康・QOL					
	13	動物 和	 i護師の役割と概	念	動物看護に影	/響を与える環境要	因				
	14	動物和 6	旨護師の役割と 概	念	動物看護師の)役割					
	15	動物和 7	f護師の役割と 概	·念	動物看護の挧	『求・小テスト					

授業科目	動物看護学概論	担当教員	中山	美帆	l	動物病院
1又未行口	划707年 设于例6元	実務 経験	有:▮		無:□	当 力 12/J 1/公 PU
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物内積	科看護等	学		担当教員	前鼻 彰人					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	师学科2年・前	必化	修・選択区分	必修	単位数				
授業形態	743				授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的		内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要 な検査、所見の記録等について理解する。									
到達目標	検査、タ	、処置、輸液、輸血に関する技術を理解する。									
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学/動物臨床検査学									
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準	<u>I</u>				
	試験		70								
評価方法・	レポー			評価	試験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物										
 履修上の	-(0) IE										
留意事項											
履修主題・	回		履修主題			履修	内容				
履修内容	1	検査 · 1	・処置に必要な技	技術	注射器の基本	<u> </u>					
	2	検査・ 2	・処置に必要な技	技術	採血の基礎						
	3	検査· 3	・処置に必要な技	5術	採尿の基礎						
	4	検査· 4	・処置に必要な技	泛術	穿刺と吸引、	小テスト					
	5	5	・処置に必要な技		カテーテルの	ーテルの取り扱い					
	6	6	・処置に必要な技		マイクロチッ	プの基礎					
	7	検査・ 7	・処置に必要な技	5術	その他の検査	E、処置に必要な打	支術、小テス	٢			
	8	投薬に	こ関わる技術		薬剤の注射法	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =					
	9	輸液に	こ関わる技術 1		輸液の基礎						
	10	輸液に	こ関わる技術 2		輸液の手技						
	11	輸液に	こ関わる技術 3		留置の設置						
	12	輸液に	こ関わる技術 4		その他、輸液	反に関わる必要な 知	印識、小テス	 			
	13	輸血に	こ関わる技術 1		輸血の基礎と	手技					
	14	輸血に	こ関わる技術 2		輸血製剤と畐	反応					
	15	輸血に	に関わる技術 3		その他、輸血	1に関わる必要な打	支術				

授業科目	動物内科看護学Ⅱ	担当教員	前鼻	彰人		動物病院
技未符日	割彻內科有護子Ⅱ	実務 経験	有:▮		無:□	到初 707
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物内和	科看護学	学 III		担当教員	前鼻 彰人					
対象年次・学期	愛玩動物 期	勿看護的	両学科2年・後	必何	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態	741				授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的		科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要 検査、所見の記録等について理解する。									
到達目標	各種検査	査に関れ	つる技術を理解す	-る。							
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学/動物臨床検査学									
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー	<u> </u>		電響	式験:70%						
評価基準	小テス	-	30		スト:30%						
	提出物										
 履修上の	その他										
留意事項											
履修主題・			履修主題			履修四	内容				
履修内容	1	X 線板	食査に関わる技術	ī 1	X線検査の基	礎					
	2	X 線核	食査に関わる技術	ī 2	検査の実施方	ī法とそれに関する	5知識				
	3	X 線核	食査に関わる技術	j 3	その他の検査	E方法と現像					
	4	超音派	皮検査に関わる技	衍	超音波検査の)基礎					
	5	超音》	皮検査に関わる技	衍	超音波検査の	特徴					
	6	心電図 1	図と血圧に関わる	技術	心電図検査の)基礎と特徴、小ラ	ニスト				
	7	心電図 2	図と血圧に関わる	技術	血圧測定の基	礎と特徴					
	8	眼科梅	食査に関わる技術	ī 1	各種検査法、	小テスト					
	9	眼科梅	食査に関わる技術	ī 2	眼科検査の特						
	10	術 1		わる技 皮膚病変の観察と記録法							
	11	術 2		関わる技 各種検査法							
	12	皮膚 と 術 3	と耳の検査に関れ	関わる技外耳道の検査法							
	13		学的検査に関わる	つる技術 基礎と反射、評価方法、小テスト							
	14	内視鉤	竟検査に関わる 技	術	基礎と実施力	ī法					
	15	CT/N	IRI に関わる技術	Ī	CT/MRI の概	要と基礎					

授業科目	動物内科看護学Ⅲ	担当教員	前鼻	彰力		動物病院
汉朱竹白	划切的作品设计III	実務 経験	有:Ⅰ		無:□	事/J 1/J 7/内 P (し
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物外	*\ <i>手</i> :苯	<u> </u>		担当教員	前鼻 彰人					
坟未 符日	到7071/	付有 喪 -	/		但ヨ狄貝	削昇 杉八					
対象年次・学期	愛玩動 ² 期	物看護的	研学科 2 年・前	必任	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的		ト科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れ を系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。									
到達目標	術前検	前検査の方法や器具、縫合材の取り扱い等を理解する。									
テキスト・ 参考図書等		物看護師 ニケーシ		≜拠教₹	斗書シリーズ8	巻 動物栄養学 <i>/</i>	動物外科看記	嬳学/動物医療			
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー			郵 価	式験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物										
	C 07 E										
履修主題・			履修主題			厦修P	内容				
履修内容	1	術前標	全立 1		動物看護師の)役割					
	2	術前標	食査 2		術前検査と術前手続き						
	3	術前標	全 3		消毒の準備						
	4	術前標	食査 4		動物の術前準	準備①、小テスト					
	5	術前植	美査 5		動物の術前準	準備②					
	6	術前校	食査 6		手術室に入る	らとき、小テスト					
	7	術前板	食査 7		手指の消毒法	= \frac{1}{\lambda}					
	8	術前標	食査 8		ガウン、グロ	1-ブの装着法					
	9	外科器	8具 1		一般器具の名	3称と取り扱い					
	10	外科器	8具 2		その他の器具	具の名称と取り扱し	`				
	11	外科器	8具 3		手入れ方法と	維持管理、小テス	スト -				
	12	外科器	8具 4		器具の滅菌						
	13	縫合林	才料と縫合法 1		種類、分類や	特徴					
	14	縫合林	才料と縫合法 2		縫合針の種類	気が類や特徴					
	15	縫合林	才料と縫合法 3		一般的な縫合	 ì法					

授業科目	動 物 从到手灌 尚]	担当教員	前鼻	彰力	(動物病院
坟未 骨日	動物外科看護学	実務 経験	有∶Ⅰ		無:□	<u></u> 到初內阮
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年‧前期	担当教員				
授業形態		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物臨尿	末看護学	学各論		担当教員	岩崎 忍					
対象年次・学期	愛玩動物 期	勿看護的	両学科 2 年・前	必任	修・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的	基本的な	々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価介入の方法について理解する。									
到達目標	消化器・	化器・栄養代謝性疾患や呼吸器系疾患に関して理解する。									
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物論	受玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ9巻 動物臨床看護学総論/動物臨床看護学各 論									
	評価方	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポート			評価	試験:70%						
評価基準	小テスト	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物										
 履修上の	1 0 JE										
留意事項											
履修主題・			履修主題			履修P	内容				
履修内容	1	消化器 1	器・栄養代謝性疫	患	消化器の構成	Ż					
	2	消化器 2	器・栄養代謝性疫	患	口頭と咽頭の疾患						
	3	3	器・栄養代謝性疫		食道と胃の疾患①						
	4	4	器・栄養代謝性疫		食道と胃の疫	悪②					
	5	消化者 5	器・栄養代謝性疫	患	小腸、大腸、	肛門の疾患					
	6	6	器・栄養代謝性疫		肝臓、胆嚢、	胆管の疾患					
	7	7	器・栄養代謝性疫		膵臓の疾患・	小テスト					
	8	消化器 8	器・栄養代謝性疫	思	腹腔、腹膜の)疾患					
	9	呼吸器	景系疾患 1		鼻腔疾患						
	10	呼吸器	景系疾患 2		咽頭疾患						
	11	呼吸器	景系疾患 3		肺、気管支疫	悪					
	12	呼吸器	景系疾患 4		胸腔疾患						
	13	呼吸是			栄養性代謝疾患						
	13	3 2/4	1717908			期の呼吸器疾患					
	14		器系疾患 6		幼齢期の呼吸	及器疾患					

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅱ	担当教員	岩崎	忍		動物病院
	THIN I HAVE J I HIM II	実務 経験	有:▮		無:□	35 157/3150
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員				
授業形態		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

極業が口	\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				+D \// *** E	岩崎 忍						
授業科目	勤物品/ 	木有護-	学各論Ⅲ		担当教員	有啊 心						
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	市学科2年・後	必何	多・選択区分	必修	単位数					
授業形態					授業回数	15 💷	時間数	30 時間				
授業目的	基本的	な知識な	病態生理を理解し を学ぶ。各々の機 こついて理解する	能障害								
到達目標	循環器	系疾患、	泌尿器系疾患、	生殖器	8系疾患に関し	て理解する。						
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	物看護的		҈ 拠教₹	斗書シリーズ 9	巻 動物臨床看護	学総論/動物	勿臨床看護学各				
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準						
	試験		70									
評価方法・	レポー			電車/無電	式験:70%							
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%							
	提出物											
履修上の 留意事項	C 49/18											
履修主題・			履修主題			履修内	 内容					
履修内容	1	循環器			先天性疾患	(心室中隔欠損症、	心房中隔欠	損症)				
	2	循環器	景系疾患 2		先天性疾患	(動脈管開存症、フ	プァロー四徴	症)				
	3	循環器	景系疾患 3		先天性疾患	(肺動脈狭窄症、大	動脈狭窄症)				
	4	循環器	景系疾患 4		先天性疾患	(僧帽弁閉鎖不全症	. 三尖弁閉	鎖不全症)				
	5	循環器	景系疾患 5		後天性疾患	(心筋症、心不全)						
	6	循環器	景系疾患 6		その他の循環	農器系疾患、小テス	\ \					
	7	泌尿器	景系疾患 1		腎臓病							
	8	泌尿器	景系疾患 2		尿路感染、尿	路結石症						
	9	泌尿器	景系疾患 3	猫の下部尿路疾患								
	10	泌尿器	泌尿器系疾患 4		その他の泌尿器系疾患、小テスト							
	11	生殖器	景系疾患 1	メスの生殖器疾患								
	12	生殖器	景系疾患 2	オスの生殖器疾患								
	13	生殖器	景系疾患 3	新生子疾患、奇形、その他生殖系疾患								
	14	眼科	・耳科疾患 1		耳、眼に生じ	る代表的な疾患	1					
	15	眼科	・耳科疾患 2		耳、眼に生じ	でる代表的な疾患	2、小テスト	`				

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅲ	担当教員	岩崎	2	動物病院
		実務 経験	有:■	無:□	-3,5,7,3,00
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	動物感染	 			担当教員	佐藤 真帆					
対象年次・学期	愛玩動物 期	看護的	市学科 2 年・前	必作	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	時間数	30 時間				
授業目的	断、衛生	物や寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診 衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学 礎について理解する。									
到達目標	微生物の	総論と	:検査方法、免 _犯	支の関わ	りを理解する	o					
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	可看護的	πカリキュラム [∑]	 連拠教科	書シリーズ3	巻 動物感染症学	<u>'</u>				
	評価方	法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポート			1111年	式験:70%						
評価基準	小テスト	`	30	~ 1 1 1 1 1	スト:30%						
	提出物										
EW.L.o.	その他										
履修上の 留意事項											
履修主題・			履修主題			履修區	内容				
履修内容	1	総論	1		ウイルス学総	注論①					
	2	総論	2		ウイルス学総	論②					
	3	総論	3		細菌学総論①						
	4	総論	4		細菌学総論②						
	5	総論	5		真菌学総論						
	6	総論	6		プリオン総論	À					
	7	検査	1		検体採取と取	又り扱い、小テスト	`				
	8	検査	2		各微生物の検	(查①					
	9	検査	3		各微生物の検	全					
	10	検査	4		薬剤感受性詞	 大験					
	11	免疫学	色の基礎と応用	1	生体防御機構	- 小テスト					
	12	免疫学	色の基礎と応用	2	ワクチンとワ	7クチネーション					
	13	免疫学	色の基礎と応用	3	抗ウイルス薬	≚と抗菌薬					
	14	感染症	臣の制御・制圧	1	動物感染症対	対策①					
	15	感染症	上 の制御・制圧	2	動物感染症対	対策②・小テスト					

授業科目	動物感染症学	担当教員	佐藤	真帆		動物病院
1又未17日	划 的心未准于 1	実務 経験	有:■	= :	無:□	3 カインパソ わし
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物内積	科看護的	学実習丨								
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	市学科2年・前	必何	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的	内科診療	療に必要	要な手技など、重	動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。							
到達目標	身体検証	査や診察	宮補助の技術を修	·修得する。 							
テキスト・ 参考図書等				、準拠動物看護実習テキスト(第3版) 、準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学/動物臨床検査学							
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準	隼				
	試験		70								
評価方法・	レポー	 		≕/#=	式験:70%						
評価基準	小テス	 	30	小テス							
	提出物										
5/51 -	その他										
履修上の 留意事項											
				履修内容							
履修主題・			履修主題			履修	多内容				
履修主題・ 履修内容	1	診察補	履修主題		基本的な保定	履修 E①立位、座位、		位、横臥位等			
		診察補診察補					伏臥位、仰臥				
	1				基本的な保定	E①立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等			
	1 2	診察補	輔助 1 輔助 2 輔助 3		基本的な保定 基本的な保定 小テスト	图①立位、座位、图②立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、			
	1 2 3	診察補診察補	輔助 1 輔助 2 輔助 3 輔助 4		基本的な保定 基本的な保定 小テスト 基本的な保定	至①立位、座位、 至②立位、座位、 至③立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、位、横臥位等			
	1 2 3 4	診察補 診察補 診察補	輔助 1 輔助 2 輔助 3 輔助 4		基本的な保定 小テスト 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定	至①立位、座位、 至②立位、座位、 至③立位、座位、 至④立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5	診察補 診察補 診察補	輔助 1 輔助 2 輔助 3 輔助 4 輔助 5 輔助 6		基本的な保定 基本的な保定 小テスト 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5	診察補 診察補 診察補 診察補 診察補	輔助 1 輔助 2 輔助 3 輔助 4 輔助 5 輔助 6		基本的な保定 小テスト 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5 6 7	診察補 診察補 診察補 診察補 診察補 診察補 診察補	輔助 1 輔助 2 輔助 3 輔助 4 輔助 5 輔助 6 輔助 7		基本的な保定 小テスト 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑦立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5 6 7 8	診察補 診察補 診察解 診察 診察 診察 診察 診察 核 身体 材	輔助 1 輔助 2 輔助 3 輔助 4 輔助 5 輔助 6 輔助 7 食査 2		基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑦立位、座位、 E①立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5 6 7 8	診察 新診察 新診察 新診察 新診察 新診察 新診察 新診察 新診察 新 を	期 1 前助 2 前助 3 前助 5 前助 6 前助 7 食査 2 食査 2 食査 2		基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 を重測定と決 意識レベルと	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑦立位、座位、 E①立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	診察 察察 終察 察察 察察 察察 察察 察 察 を を を を を を を を	#助 1 #助 2 #助 3 #助 4 # # # # # # # # # # # # # # # # #		基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 を重測定と決 意識レベルと	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E①立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、 CO立位、座位、	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	診察 診察 診察 診察 診察 診察 線 線 体 が ババイク	#助 1 #助 2 #助 3 #助 4 #助 5 #助 6 #助 7 検査 2 検査 2 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 基本的な保定 を重測レベルサイバイタルサイバイタルサイ	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E②立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、 E④立位、 E④立位 E④立位 E④立位 E④立心 E④立心 E④立心 E④立心 E④立心 E④立心 E④立心 E④立心 E④立心 E④立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立心 E□立 E□立 E□立 E□立 E□立 E□立 E□立 E□立	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	診察を終れる。診察を終れる。診察を終れる。診察を終れる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	#助 1 #助 2 #助 3 #助 4 # # # # # # # # # # # # # # # # #		基本的な保定 基本のな保定 基本ののない 基本ののない 基本ののないでは、 基本ののないでは、 基本ののないでは、 を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	E①立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、座位、 E⑤立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E⑥立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E①立位、座位、 E②立位、座位、 E②立位、座位、 E②立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E③立位、座位、 E④立位、 E□ (E□ E□ E	伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥 伏臥位、仰臥	位、横臥位等 位、横臥位等、 位、横臥位等 位、横臥位等 位、横臥位等			

授業科目	動物内科看護学実習	担当教員	前鼻	彰力	(動物病院
坟未付日	划	実務 経験	有:▮		無:□	新77771PIT
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

接来科目 動物内科希護学楽習 担当教員 前条 彰人 対象年次・学期																	
接来形態 接来回数 15 回 時間数 30 時間 接来回数 15 回 時間数 30 時間 接来回動 5 回 時間数 30 時間 接来回動 5 回 時間数 30 時間 接来回動物看護年で学んだ知識の実践力を修得する。 要比動物看護師カリキュラム準拠動物看護東留テキスト (第3 版)	授業科目	動物内	科看護等	学実習		担当教員	前鼻 彰人										
投薬目的 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	対象年次・学期		物看護的	師学科2年・後	必任	必修・選択区分 必修 単位数											
野連目標 診察補助の技術を修得する。 受玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト (第3版)	授業形態					授業回数 15 回 時間数 30 時間											
フ・・	授業目的	内科診療	療に必勢	要な手技など、重	F技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。												
参考図書等 要玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 7巻 動物内科看護学/動物臨床検査学 評価基準 近成時 70 レポート 小テスト 履修上の 密意事項 履修主題・	到達目標	診察補助	助の技術	析を修得する。													
試験								学/動物臨原	末検査学								
PT価方法・		評価に	方法	評価割合(%)			評価基準										
評価基準		試験		70													
### 10		レポー	<u> </u>		₩ (本)	対除・70%											
その他	評価基準		<u> </u>	30													
履修上の 留意事項 図																	
図修主題・ 図修主題 図修内容 1 診察補助 1 注射器の取り扱い①基本操作 2 診察補助 2 注射器の取り扱い②アンプル 3 診察補助 3 注射器の取り扱い②アンプル 4 診察補助 4 薬剤の取り扱い②錠剤の準備、分包、小テスト 5 診察補助 5 薬剤の取り扱い③錠口投与と注射の手段 1 7 診察補助 6 薬剤の取り扱い③経口投与と注射の手段 1 7 診察補助 7 薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 2 8 診察補助 8 採血の手技② 10 診察補助 9 採血の手技② 10 診察補助 10 留置の手技② 11 診察補助 11 留置の手技② 12 診察補助 12 輸液の準備 (皮下、静脈)、小テスト 13 診察補助 13 輸液がンプの取り扱い 14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い	足校しの	その他															
「原修内容 1 診察補助 1 注射器の取り扱い①基本操作 2 診察補助 2 注射器の取り扱い②アンプル 3 診察補助 3 注射器の取り扱い②アンプル 4 診察補助 4 薬剤の取り扱い②錠剤の準備、分包、小テスト 5 診察補助 5 薬剤の取り扱い②粉剤の準備、分包 6 診察補助 6 薬剤の取り扱い③経口投与と注射の手段 1 7 診察補助 7 薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 2 8 診察補助 8 採血の手技①、小テスト 9 診察補助 9 採血の手技② 10 診察補助 10 留置の手技② 11 診察補助 11 留置の手技② 12 診察補助 12 輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト 13 診察補助 13 輸液がンプの取り扱い 14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い																	
注射器の取り扱い②アンプル 注射器の取り扱い②アンプル 注射器の取り扱い②アンプル 注射器の取り扱い②定額の準備、分包、小テスト 注射器の取り扱い②総剤の準備、分包、小テスト 注射器の取り扱い②粉剤の準備、分包 診察補助 5 薬剤の取り扱い②粉剤の準備、分包 ※剤の取り扱い③経口投与と注射の手段 1 ※薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 2 ※薬剤助 8 採血の手技①、小テスト 注車の手技② ※薬補助 9 採血の手技② ※薬補助 10 留置の手技② 10 診察補助 11 留置の手技② 12 診察補助 12 輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト 13 診察補助 13 輸液ポンプの取り扱い 14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い	履修主題・			履修主題			履修P	容									
3診察補助 3注射器の取り扱い②アンプル4診察補助 4薬剤の取り扱い①錠剤の準備、分包、小テスト5診察補助 5薬剤の取り扱い②粉剤の準備、分包6診察補助 6薬剤の取り扱い③経口投与と注射の手段 17診察補助 7薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 28診察補助 8採血の手技②、小テスト9診察補助 9採血の手技②10診察補助 10留置の手技②11診察補助 11留置の手技②12診察補助 12輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト13診察補助 13輸液ポンプの取り扱い14診察補助 14シリンジポンプの取り扱い	履修内容	1	診察補	甫助 1		注射器の取り	り扱い①基本操作										
4診察補助 4薬剤の取り扱い①錠剤の準備、分包、小テスト5診察補助 5薬剤の取り扱い②粉剤の準備、分包6診察補助 6薬剤の取り扱い③経口投与と注射の手段 17診察補助 7薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 28診察補助 8採血の手技①、小テスト9診察補助 9採血の手技②10診察補助 10留置の手技①11診察補助 11留置の手技②12診察補助 12輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト13診察補助 13輸液ボンプの取り扱い14診察補助 14シリンジボンプの取り扱い		2	診察補	甫助 2		注射器の取り	リ扱い②アンプル										
5 診察補助 5 薬剤の取り扱い②粉剤の準備、分包 6 診察補助 6 薬剤の取り扱い③経口投与と注射の手段 1 7 診察補助 7 薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 2 8 診察補助 8 採血の手技①、小テスト 9 診察補助 9 採血の手技② 10 診察補助 10 留置の手技② 11 診察補助 11 留置の手技② 12 診察補助 12 輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト 13 診察補助 13 輸液ポンプの取り扱い 14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い		3	診察補	甫助 3		注射器の取り	り扱い②アンプル										
6 診察補助 6 薬剤の取り扱い③経口投与と注射の手段 1 7 診察補助 7 薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 2 8 診察補助 8 採血の手技①、小テスト 9 診察補助 9 採血の手技② 10 診察補助 10 留置の手技① 11 診察補助 11 留置の手技② 12 診察補助 12 輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト 13 診察補助 13 輸液ポンプの取り扱い 14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い		4	診察補	甫助 4		薬剤の取り扱	とい①錠剤の準備、	分包、小テ	スト								
7診察補助 7薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段 28診察補助 8採血の手技①、小テスト9診察補助 9採血の手技②10診察補助 10留置の手技①11診察補助 11留置の手技②12診察補助 12輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト13診察補助 13輸液ポンプの取り扱い14診察補助 14シリンジポンプの取り扱い		5	診察補	甫助 5		薬剤の取り扱	とい②粉剤の準備、	分包									
8診察補助 8採血の手技①、小テスト9診察補助 9採血の手技②10診察補助 10留置の手技①11診察補助 11留置の手技②12診察補助 12輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト13診察補助 13輸液ポンプの取り扱い14診察補助 14シリンジポンプの取り扱い		6	診察補	甫助 6		薬剤の取り扱	及い③経口投与と注	皇射の手段	1								
9 診察補助 9 採血の手技② 10 診察補助 10 留置の手技① 11 診察補助 11 留置の手技② 12 診察補助 12 輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト 13 診察補助 13 輸液ポンプの取り扱い 14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い		7	診察補	甫助 7		薬剤の取り扱	及い④経口投与と注	皇射の手段	2								
10 診察補助 10 留置の手技① 11 診察補助 11 留置の手技② 12 診察補助 12 輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト 13 診察補助 13 輸液ポンプの取り扱い 14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い		8	診察補	甫助 8		採血の手技①)、小テスト										
11診察補助 11留置の手技②12診察補助 12輸液の準備 (皮下、静脈)、小テスト13診察補助 13輸液ポンプの取り扱い14診察補助 14シリンジポンプの取り扱い		9	診察補	甫助 9		採血の手技②											
12診察補助 12輸液の準備 (皮下、静脈)、小テスト13診察補助 13輸液ポンプの取り扱い14診察補助 14シリンジポンプの取り扱い		10	診察補	甫助 10		留置の手技①											
13診察補助 13輸液ポンプの取り扱い14診察補助 14シリンジポンプの取り扱い		11	診察補	甫助 11		留置の手技②											
14 診察補助 14 シリンジポンプの取り扱い		12	診察補	甫助 12	輸液の準備(皮下、静脈)、小テスト												
		13	診察補			輸液ポンプの取り扱い											
15 診察補助 15 輸液のモニタリング		14	診察補	甫助 14		シリンジポン	プの取り扱い										
		15	診察補	甫助 15		輸液のモニタ	ィリング										

授業科目	動物内科看護学実習Ⅱ	担当教員	前鼻	彰力	(動物病院
汉 未付日	期初內什有設于天白Ⅱ	実務 経験	有:▮		無:□	新77771PIT
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年 · 後期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物外	科看護皇	学実習		担当教員	前鼻 彰人					
対象年次・学期	愛玩動物	物看護的	市学科2年・後	必作	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的		準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学 らんだ知識の実践力を修得する。									
到達目標	術前準位	前準備の技術を修得する。									
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第3版) 玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ8巻 動物栄養学/動物外科看護学/動物医療 ミュニケーション									
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー	<u> </u>		評価記	式験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物										
履修上の 留意事項	C 47 B										
履修主題・	□		履修主題			履修P	内容				
履修内容	1	術前導	≛備 1		周術期の流れ	ι					
	2	術前導	≛備 2		術前検査と麻	素酔記録作成①					
	3	術前導	≛備 3		術前検査と麻	麻酔記録作成②					
	4	術前導	基備 4		留置準備、手	=順①					
	5	術前導	準備 5		留置準備、手	=順②					
	6	術前準	準備 6		術前準備に伴	半う保定①					
	7	術前導	準備 7		術前準備に伴	半う保定②					
	8	術前導	≛備 8		患者動物の徘	前管理(三方活 档	È) (1)				
	9	術前導	準備 9	患者動物の術前管理(三方活栓)②、小テスト							
	10	術前導	≛備 10		気管挿管の準	準備と手技①					
	11	術前導	準備 11		気管挿管の準	準備と手技②					
	12	術前導	≛備 12		気管挿管の準	準備と手技③					
	13	術前導	≛備 13		動物の術前準	準備①					
	14	術前導	準備 14		動物の術前準	準備②					
	15	術前導	≛備 15		モニターの接	接続方法、小テスト					

授業科目	動物外科看護学実習	担当教員	前鼻	彰力	(動物病院
汉 未付日	划 初外付有設于天白 I	実務 経験	有:▮		無:□	新77771PIT
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年 · 後期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物臨足	末検査等	学実習		担当教員	今木 康彦					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	师学科2年・前	必任	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態				授業回数 15 回 時間数 30							
授業目的	検体検査	本検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。									
到達目標	検体検査	体検査の技術を修得する									
テキスト・ 参考図書等		受玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第3版) 受玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学/動物臨床検査学									
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー	<u> </u>		₩ (本)	式験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物										
	その他										
履修上の 留意事項											
履修主題・			履修主題			履修P	内容				
履修内容	1	検体を	食査 1		簡易血清学的	対検査の手技					
	2	検体を	食査 2		血液塗抹標本	の作製①					
	3	検体権	美査 3		血液塗抹標本	の作製②					
	4	検体を	食査 4		血液塗抹の観	見察①					
	5	検体を	食査 5		血液塗抹の観	見察②					
	6	検体を	食査 6		血液塗抹の観	見察③・小テスト					
	7	検体を	食査 7		血液塗抹の音	分比算出①					
	8	検体を	全査 8		血液塗抹の音	分比算出②					
	9	生体核	負査 1		総合演習(採	《血~血液検査)①)				
	10	生体核	負査 2		総合演習(採	《血~血液検査)②	・小テスト				
	11	検体を	負査 9		細菌の取り扱	と培養検査					
	12	検体を	負査 10		細菌に効果の)ある抗菌薬(薬剤!	感受性試験)				
	13	検体を	食査 11		細胞診の検体	sの取り扱い					
	14	検体を	食査 12		細胞診の準備	Ħ					
	15	検体権	食査 13		細胞診の補助	り・小テスト					

授業科目	動物臨床検査学実習Ⅱ	担当教員	今木	康彦	· ·	動物病院
汉朱竹百	到7000000000000000000000000000000000000	実務 経験	有:▮		無:□	שקייונגו נעב
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

155 2114 471	動物看護総合実習 担当教員 佐藤 真帆									
授業科目			担当教員	担当教員 佐藤 真帆						
対象年次・学期	愛玩動物 期	看護師学科2年・前	必修・選択区分	必修	単位数					
授業形態			授業回数	33 🗉	時間数	65 時間				
授業目的	要や機能、	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。								
到達目標	愛玩動物看護師の技術を修得する。									
テキスト・ 参考図書等										
	評価方法	去 評価割合(%)		評価基準						
	試験		th 77 C = + . 000/							
評価方法・ 評価基準	レポート 小テスト		・実習日誌:20% ・実習評価表:40%							
7110-21	提出物		・実習オリエンテー・実習報告会評価:		20%					
	その他	100								
履修上の 留意事項										
履修主題・	回	履修主題		履修内容						
履修内容	1 1	実習前オリエンテーシ	ョン 校長講話	校長講話						
	2 2	実習前オリエンテーシ	実習に必要な	実習に必要な基礎知識の復習						
	3 3	実習前オリエンテーシ }	実習に必要な	実習に必要な基礎知識の復習						
	4 4		美智に必要な	は基礎知識の復習						
	5 5)	実習に必要な	は基礎知識の復習						
	6 6	実習前オリエンテーシ う	実習に必要な	は基礎知識の復習						
	7 7	実習前オリエンテーシ '	ョン 実習に必要な	実習に必要な基礎知識の復習						
	8 8	実習前オリエンテーシ }	美智に必要な	実習に必要な基礎知識の復習						
	9 4	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方 包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学								
	10	動物病院実習	食餌に関する 排泄介助技術 創傷管理技術 投薬技術の身 生体機能管理	所の実践 ≷践 型技術の実践 ○配慮と院内清掃、	民践					

		動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		わか、かか栄養性の名称、放業量可算、業の可量が広、ガー 包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践 投薬技術の実践
		技業技術の失政 生体機能管理技術の実践
		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
11	動物病院実習	周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践
		動物の甌床候互開助の美域 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践 投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
1.0		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
12	動物病院実習	周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
	動物病院実習	排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
13		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践
10		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践 術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
14	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践 食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
15	動物病院実習	投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践
		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
		周術期の看護技術の実践 動物の原序検索補助の実践
		動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
L		- ***・、//****・「日日、

			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践 食餌に関する看護及び技術の実践
			段時に関する有護及び投制の実践 排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	16	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践 術前の準備の実践
			柳前の幸福の美銭 動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
	4 7		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	17	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
		動物病院実習	投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	18		窓末 7 切べの 配慮 こ 尻 内 肩 桁 、 肩 毎 の 美 践
	10		動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践 # 洲の助技術の実践
			排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践
			別場自住技術の実践 投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	19	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学
			動物の子術補助、麻酔管理の見子 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
	20	動物病院実習	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
			周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			内用、外用条合性の名例、技楽重計算、楽の計重力法、分 包方法の実践
			おりない美域 術前の準備の実践
			다 다 가 다 가 다 가 스 사자

			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践
		動物病院実習	投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	21		周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践
			術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践 投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	22	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践 術前の準備の実践 の スター・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー
			動物の手術補助、麻酔管理の見学手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践
	23		創傷管理技術の実践 投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
			周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践
			術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践 食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践
	24	動物病院実習	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践 術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践 投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	25	動物病院実習	周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践
			術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践

	T	食餌に関する看護及び技術の実践
26	動物病院実習	提供に関する有限及び扱州の失政 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
27	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
28	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
29	実習報告 1	パワーポイント作成
30	実習報告 2	パワーポイント作成
31	実習報告 3	パワーポイント作成
32	実習報告 4	発表
33	実習報告 5	発表

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ	担当教員	佐藤	真帆		動物病院
1又未行口	划/// 1/1	実務 経験	有:■	= #	#:□	当力 12/17/N PJL
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

	1					<u></u>					
授業科目	グルー	ミング湯	寅習Ⅲ		担当教員	中山 聡士					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	市学科2年・後	必必	修・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	30 🗉	時間数	60 時間			
授業目的	グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担えない様保定し気持ちを考えて作業する。										
到達目標	シザーの扱いを習得、部分カット技術の習得。										
テキスト・ 参考図書等			実習着・エプロ ウィッグ	ン・グル	ルーミング道具	・ドッググルーマ	ーズプロフ:	ェッショナルワ			
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		60)							
評価方法・	レポー	-]	= NEA 1	1= NEA	: /				
評価基準	小テス	-	40			!試験、課題にて評 iの場合もあります					
	提出物			中小例次	ro X本r 1 C 大ル	,~, <i>~,,,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0				
	その他										
履修上の			きにより変更す BL な揺業を選								
留意事項					場合もあります 変更になる場合						
尼收入昭			履修主題			履修内	内容				
履修主題・ 履修内容	1	グル-	- ミング実習	1	足裏中クリッ 尻周り等) 3	 /パー、部分カット 全身カット	(ひげカット	、・足周り・お			
	2	グル-	- ミング実習	1	足裏中クリッ 尻周り等) :	,パー、部分カット 全身カット	・(ひげカット	、・足周り・お			
	3	グルー	- ミング実習	2	足裏中クリッ	/パー・足裏の開き	方①				
	4	グルー	-ミング実習	2	足裏中クリッ	パー・足裏の開き	方①				
	5	グルー	- ミング実習	3	足裏中クリッ	パー・足裏の開き	方②				
	6	グル-	- ミング実習	3	足裏中クリッ	パー・足裏の開き	方②				
	7	グル-	-ミング実習	4	足裏中クリッ	パー・クリッパー	-の入れ方確	認			
	8	グルー	-ミング実習	4		パー・クリッパー					
	9	グル-	- ミング実習	5	ブラッシンク 化) ① ブラッシンク	゛(抜け毛・もつ					
	10	グル-	-ミング実習	5	化) ①			,			
	11	グル-	-ミング実習	6	ブラッシンク 化)② ブラッシンク	(,			
	12	グル-	-ミング実習	6	ブラッシンク 化)②	が (抜け毛・もつ	れ・毛玉な	どの処理を強			
	13	グルー	-ミング実習	7	進度測定(小	ヘテスト)					
	14	グルー	-ミング実習	7	進度測定(小	·テスト)					
	15	グルー	- ミング実習	8	進度測定(小	·テスト)					
	16	グル-	-ミング実習	8	進度測定(小	ヘテスト)					
	17	グル-	 -ミング実習	9 シャンプー・ドライング (犬種や毛質に合わせた作業) (
	18	グルー	 -ミング実習	9		ドライング(犬種					
	19	グルー	- ミング実習	10	シャンプー・	ドライング(犬種	や毛質に合	わせた作業)②			
	20	グル-	 -ミング実習	10	シャンプー・	 ドライング(犬種	や毛質に合	 わせた作業) ②			
	21		<u></u>			·					
		1 10	- , , 人口		1 部分カット (足回り・ひげカット中心)①						

		<u>, </u>
22	グルーミング実習 11	部分カット (足回り・ひげカット中心)①
23	グルーミング実習 12	部分カット (足回り・ひげカット中心)②
24	グルーミング実習 12	部分カット (足回り・ひげカット中心)②
25	グルーミング実習 13	部分カット (足回り・ひげカット中心)③
26	グルーミング実習 13	部分カット (足回り・ひげカット中心)③
27	グルーミング実習 14	部分カット (足回り ボディクリッピングなど)
28	グルーミング実習 14	部分カット (足回り ボディクリッピングなど)
29	グルーミング実習 15	部分カット (足回り ボディクリッピングなど)
30	グルーミング実習 15	部分カット (足回り ボディクリッピングなど)

授業科目	グルーミング演習	担当教員	鹿内千夏	子	トリマー
汉朱竹百	// 、	実務 経験	有:■	無:□	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	ビジネスマナーIII				担当教員	古久保 英樹				
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科·2年· 後期				多・選択区分	必修	単位数			
授業形態	講義				授業回数	8 🗆	時間数	15 時間		
授業目的	社会人。	としての	り知識・マナー、	自己の	きえと進路研	究。進路決定のた	めの取り組る	み。		
到達目標	将来に「	句けた名	各々の考えを明確	にし、	次年度から早	期の就職活動を可	能にする。			
テキスト・ 参考図書等										
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験									
評価方法・	レポート		レポート							
評価基準	小テスト		3 7 7 1			提出物	物と授業中の取	り組み姿勢を合わ	せ、総合的	に評価します。
	提出物		80							
	その他		20							
履修上の 留意事項										
履修主題・	□		履修主題		履修内容					
履修内容	1	就職打	旨導 1		就職活動について(自己分析)					
	2	就職打	旨導 2		就職活動について(コミュニケーション力)					
	3	就職打	旨導 3		就職活動について(就職先について考える)					
	4	就職打	旨導 4		就職活動について(活動内容、求人の見方)					
	5	就職打	旨導 5		就職活動につ	いて(履歴書、志	望動機)			
	6	就職打	旨導 6		就職活動につ	いて(受験時の行	· 動、面接時	の心構え)		
	7	社会教	效養 1		社会人1年目、マナー・常識					
	8	社会教	炎養 2		社会人基礎力について					

授業科目	ビジネスマナーIII	担当教員	古久保	英樹		
		実務 経験				
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科・2 年・後 期	担当 教員				
授業形態	講義	実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務経験				

	1					T				
授業科目	動物災	害看護院	学丨		担当教員	前鼻 彰人	前鼻 彰人			
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·後 期				多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間		
授業目的	災害急	災害急性期に動物救護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。								
到達目標	動物災	害救命	±							
テキスト・ 参考図書等										
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・	レポー	-		雲/冊≣	式験:70%					
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%					
	提出物									
	その他									
履修上の 留意事項										
履修主題・			履修主題			履修區	内容			
履修内容	1	災害を	を知る 1		災害の種類とリスク①					
	2	災害を	を知る 2		災害の種類とリスク②					
	3	災害を	を知る 3		災害の種類とリスク③					
	4	災害を	を知る 4		災害の種類とリスク④					
	5	ハザ-	ードマップ		ハザードマップの確認方法、小テスト					
	6	災害 ³ 1	寺に適応される法	達律	災害医療関連法規①					
	7	災害 ³ 2	寺に適応される法	達律	災害医療関連法規②					
	8	避難ス	ち法と避難生活	1	同行避難と同	伴避難、小テス	-			
	9	避難フ	方法と避難生活	2	避難方法と必	 必要物品				
	10	避難ス	ち法と避難生活	3	避難生活と人	、				
	11 避難方法と避難生活 4				動物災害看護	養、小テスト				
	12 災害を知る 5				防災センター	-見学実習				
	13	災害を	を知る 5		防災センター	-見学実習				
	14	災害を	を知る 5		防災センター	-見学実習				
	15	災害を	を知る 5		防災センター	-見学実習				
					2227 - 7 20 3 27 1					

授業科目	動物災害看護学	担当教員	前鼻	彰人		動物病院
投耒 将日		実務 経験	有:▮		無:□	乳初 杯
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科2年・後期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	国家試	験対策	I		担当教員	前鼻 彰人					
対象年次・学期	愛玩動 ² 期	物看護的	両学科 2 年・後	必任	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的	愛玩動物	物看護的	T免許取得に向い	けて、間	問題演習を行い	資格取得に必要な	知識を復習っ	する。			
到達目標	愛玩動!	物看護的	币免許取得								
テキスト・ 参考図書等											
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験 70										
評価方法・	レポート			評価	式験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物										
履修上の 留意事項	3 O TE										
			履修主題		履修内容						
履修内容	1	Comp	outer Based Trai	ining	過去問一問-	-答問題(2020)	1				
	2	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問-	-答問題(2020)	2				
	3	Comp	outer Based Trai	ning	2020 年度統	一認定試験(一般	・実地)、小	テスト			
	4	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問一	-答問題(2019)	1				
	5	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問-	-答問題(2019)	2				
	6	Comp	outer Based Trai	ning	2019 年度統	一認定試験(一般	・実地)、小	テスト			
	7	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問-	-答問題(2018)	1				
	8	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問-	-答問題(2018)	2				
	9	Comp	outer Based Trai	ning	2018 年度統	一認定試験(一般	・実地)、小	テスト			
	10	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問-	-答問題(2017)	1				
	11	Computer Based Trainin			過去問一問一	-答問題(2017)	2				
	12	Computer Based Training			2017 年度統	一認定試験(一般	・実地)、小	テスト			
	13	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問一答問題(2016) ①						
	14	Comp	outer Based Trai	ning	過去問一問一	- 答問題(2016)	2				
	15	Comp	outer Based Trai	ning	2016 年度統	一認定試験(一般	・実地)、小	テスト			

授業科目	国家試験対策丨	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
1又未行口	国水砂壳以水	実務 経験	有:■	無:	שטן אירנעידענע (ער
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

	1										
授業科目	グルー	ミング漢	寅習		担当教員	林恵					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	师学科2年・前	必值	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	30 回	時間数	60 時間			
授業目的		グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。									
到達目標	グルー	ミング碁	基礎技術の向上								
テキスト・ 参考図書等	グルーミング実習着・エプロン・グルーミング道具・ウィッグ										
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		60								
評価方法・	レポー	 									
評価基準	小テス		////			試験、課題にて評					
	提出物	-	10	試験は	は授業内で実施	の場合もあります	0				
	その他										
		容は進門	 度により変更する	事がを	ります。						
履修上の 留意事項	ウィッ:	グを使月	用して授業を進行	する場	合もあります						
田尽争块	当日の	モデルフ	犬種により授業内	容が変	更になる場合	があります。					
履修主題・	□		履修主題			履修P	内容				
履修内容	1	グル-	- ミング基礎実習	1	ベイジング前の作業の強化(ブラッシングを中心にもつれ 毛、毛玉の処理)①						
	2	グルー	- ミング基礎実習	1	毛、毛玉の処						
	3	グルー	- ミング基礎実習	2	毛、毛玉の奴						
	4	グル-	- ミング基礎実習	2	ベイジング前 毛、毛玉の処	うの作業の強化(こ 1理)②	ブラッシング	を中心にもつれ			
	5	グル-	- ミング基礎実習	3	ベイジング前	丁の作業の強化 (Л	〔切り・足裏	クリッパー) ①			
	6	グルー	- ミング基礎実習	3	ベイジング前	Tの作業の強化(//	「切り・足裏	クリッパー) ①			
	7	グルー	- ミング基礎実習	4	ベイジング前	前の作業の強化(爪切り・足裏クリッパー)②					
	8	グル-	- ミング基礎実習	4	ベイジング前	立の作業の強化(几	<u></u> (切り・足裏	クリッパー)②			
	9	グルー	- ミング基礎実習	5	1	jの作業の強化(I					
	10	グルー	- ミング基礎実習	5	1	jの作業の強化(I		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
	11	グル-	- ミング基礎実習	6	2	可の作業の強化(I					
	12	グルー	- ミング基礎実習	6	ベイジング前 ②	うの作業の強化 (耳	‡掃除、肛門	クリッパー等)			
	13	グルー	- ミング基礎実習	7	ベイシングの	強化(予備洗い・	肛門腺絞り	等)①			
	14	グル-	- ミング基礎実習	7	ベイシングの	強化(予備洗い・	肛門腺絞り	等) ①			
	15	グルー	- ミング基礎実習	8	ベイシングの	強化(予備洗い・	肛門腺絞り	等)②			
	16	グルー		8	ベイシングの)強化(予備洗い・	肛門腺絞り	等)②			
	17	グルー		9	ベイシングの)強化(シャンプ-	-・リンス・	すすぎ等)①			
	18	グル-	- ミング基礎実習	9	ベイシングの)強化(シャンプ-	-・リンス・	すすぎ等)①			
	19		- ミング基礎実習	10		強化(シャンプ-					
						· · · ·					
	20	グルー	-ミング基礎実習	10	ベイシングの)強化(シャンプ-	-・リンス・	すすさ等)(2)			

方確
方確

授業科目	グルーミング演習	担当教員	中下由衣		トリマー
1又未11日	/ // 、	実務 経験	有:■	無:□	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	愛玩対策	策			担当教員	佐藤 真帆				
対象年次・学期	愛玩動物	物看護的	両学科 2 年・通	必何	 多・選択区分	必修	単位数			
授業形態						23 回	時間数	45 時間		
授業目的	愛玩動物	物飼養管	管理士1級の合格	各レベノ	レ、知識を覚え	る。				
到達目標	愛玩動物	物飼養管	管理士1級に合格	各する。						
テキスト・ 参考図書等		愛玩動物飼養管理士 1 級教本第 1 巻・第 2 巻 課題報告問題集								
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・	レポー			評価記	式験:70%					
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%					
	提出物									
 履修上の	- (切他									
留意事項										
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1	動物の	D体の仕組みと働	かき Ⅱ	身体の仕組み	ょと働き				
	2	動物の	D遺伝と繁殖生理	1	動物の遺伝・	動物の繁殖生理				
	3	動物の	D行動と社会		動物の行動と	社会				
	4	適正飲	同養指導論		適正飼養指導論					
	5	犬と猿	歯の栄養学 1		栄養素とその機能・小テスト					
	6	犬と猫	苗の栄養学 2		犬と猫が必要とする栄養素					
	7	犬と猫	歯の栄養学 3		ライフステージと栄養・ 犬と猫のペットフードの進展					
	8	動物隊	関係法令 1		動物と法律 ・ 飼養動物と関係法令 ・ 野生動物と 関係法令 ①					
	9	動物関	関係法令 2		動物と法律 ・ 飼養動物と関係法令 ・ 野生動物と 関係法令 ②					
	10	動物愛規	愛護・適正飼養関	連法	動物愛護に関しての法律					
	11	飼育重	動物の種類と特徴 かっぱん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	<u></u>	産業動物と野生動物について・小テスト					
	12	動物の	D疾病とその予防	5 1	犬の疾病とそ	その予防 ①				
	13	動物の	D疾病とその予防	5 2	犬の疾病とそ	その予防 ②				
	14	動物の	D疾病とその予防	5 3	猫の疾病とそ	その予防 ①				
	15	動物の	D疾病とその予防	5 4	猫の疾病とそ					
	16	動物の	D飼養管理と公衆	衛生	人と動物の井 とその対策	共生に必要な公衆 征	新生・人と <u>動</u>	物の共通感染症		
	17	自然と	:人間・			世界の動き ・ [自然環境と人	間のかかわり		
	18	検定対	対策 1		課題報告問題	夏・小テスト				
	19	検定対	対策 2		課題報告問題					
	20	検定対	対策 3		課題報告問題	<u> </u>				
	21	検定対	対策 4		課題報告問題	<u> </u>				
	22	検定対	対策 5		課題報告問題	<u> </u>				

23	検定対策 6	課題報告問題

授業科目	愛玩対策	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
汉朱竹口	夕 九/灯状Ⅱ	実務 経験	有:■	無:□	שלין מיל לאל נאָל 19,1 אין איל נאָל 19,1 אין איל 19,1 אין
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年 · 通年	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	動物医療	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ュニケーション		担当教員	担当教員中山美帆						
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	両学科2年・前	必作	多・選択区分	必修	単位数					
授業形態	743				授業回数	15 回	時間数	30 時間				
授業目的	事前問記			、院内	Nにおける他の	スタッフとのコミ	ュニケーショ	ョンの基礎につ				
到達目標	クライ	アントコ	ロデュケーション	や院内	Ŋコミュニケ ー	ション、院内の業	務に関して現	里解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 8 巻 動物栄養学/動物外科看護学/動物医療コミュニケーション											
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準						
	試験		70									
評価方法・ 評価基準	レポー			評価記	式験:70%							
叶 脚 茎竿	サラス 提出物	<u> </u>	30	小テス	スト:30%							
	た山初											
履修上の 留意事項	(3)		<u> </u>									
履修主題・			履修主題			履修P	内容					
履修内容	1	クライョン	イアントエデュケ 1	ーシ	予防接種							
	2	クライョン	イアントエデュケ 2	ーシ	予防接種、小テスト							
	3	クライョン	イアントエデュケ 3	ーシ	ノミ・ダニ予防							
	4		イアントエデュケ ·	ーシ	フィラリア予防、小テスト							
	5	ョン			歯科予防							
	6	ョン			去勢・不妊手術、小テスト							
	7	1	コミュニケーショ		インフォームドコンセント							
	8	2	コミュニケーショ		獣医療面接の基礎							
	9	院内=	コミュニケーショ	ン	獣医療面接の	実践						
	10	院内第	美務 1		電話の対応方法①							
	11 院内業務 2					i法②、小テスト						
	12 院内業務 3				受付と清算、小テスト							
	13	院内第	美務 4		トラブル対応							
	14	院内第	美務 5		物品購入や管	7理						
	15	院内第	美務 6		ペット保険		ペット保険					

授業科目	動物医療コミュニケーション	担当教員	中山	美帆	動物病院
		実務 経験	有:■	無:□	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務経験			
		,			

授業科目	動物感	染症学I	I		担当教員	佐藤 真帆					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	両学科2年・後	必何	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的	断、衛生	微生物や寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わるの基礎について理解する。									
到達目標	ウイル	ス、細菌	菌、真菌の分類や	特徴と	: 寄生虫学概論	を理解する。					
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ3巻 動物感染症学									
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー			≕布	式験: 70%						
評価基準	小テスト 3 H 山 畑			小テスト:30%							
	提出物										
 履修上の	その他										
留意事項											
履修主題・			履修主題			履修区	内容				
履修内容	1	動物原	感染症 1		ウイルス① (感染要因、経路、症状、治療、予防等)						
	2	動物原	感染症 2		ウイルス② (感染要因、経路、症状、治療、予防等)						
	3	動物原	感染症 3		ウイルス③(感染要因、経路、症状、治療、予防等)						
	4	動物原			ウイルス④	ウイルス④ (感染要因、経路、症状、治療、予防等)					
	5	動物原			ウイルス⑤	ウイルス⑤ (感染要因、経路、症状、治療、予防等)					
	6	動物原	感染症 6		細菌①(感染	雲因、経路、症∜	弋、治療、予	防等)・小テスト			
	7	動物原			細菌② (感染要因、経路、症状、治療、予防等)						
	8	動物原	感染症 8		細菌③ (感染	要因、経路、症り	弋、治療、予	防等)			
	9	動物原	感染症 9		真菌①(感染	要因、経路、症状	弋、治療、予	防等)			
	10	動物原	感染症 10		真菌②(感染	要因、経路、症状	弋、治療、予	防等)			
	11	動物感染症 11			真菌③ (感染	要因、経路、症状	弋、治療、予	防等)			
	12	動物智	寄生虫学総論 1		寄生虫学概論	計・小テスト					
	13	動物寄生虫学総論 2			感染、伝播様式と病害						
	14	動物智	寄生虫学総論 3		人獣共通感染症						
	15	動物智	寄生虫学総論 4		寄生虫症の治	a療、看護、予防·	・小テスト				
	1	<u> </u>			<u> </u>						

授業科目	動物感染症学Ⅱ	担当教員	佐藤	真帆	動物	右院
1又未11日	划100亿未址于	実務 経験	有:■	■ 無:[טקאל.
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

	41 U T/4	4F 186 //F 3	V- 111		In 1/ */ -						
授業科目	動物形態	悲機能 5	⋛		担当教員	岩崎忍					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	でです。 で学科 2 年・前	必何	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的		物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。									
到達目標	血液循环	血液循環の仕組みと調節、泌尿器と体液調整、脳と神経について理解する。									
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 1 巻 動物形態機能学/動物繁殖学										
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・ 評価基準	レポー 小テス		20	評価詞	式験:70%						
可圆坐牛	ホテス 提出物	Γ	30	小テス	スト:30%						
	その他										
履修上の 留意事項											
履修主題・	□		履修主題			履修内	容				
履修内容	1	血液循	盾環とその調節	1	心臓の構造						
	2	血液循	盾環とその調節	2	心臓の機能						
	3	血液循	盾環とその調節	3	刺激伝導系と電気現象						
	4	血液循	盾環とその調節	4	心電図と心音						
	5	血液循	盾環とその調節	5	循環(血圧)の調節、血管の種類と構造、機能・小テスト						
	6	血液循	盾環とその調節	6	脾臓とリンハ	[°]					
	7	泌尿器	Bと体液調整 1		腎臓の構造と機能						
	8	泌尿器	器と体液調整 2		腎臓の再吸収	ひと分泌、尿濃縮					
	9	泌尿器	景と体液調整 3		体液と調節・	小テスト					
	10	泌尿器	器と体液調整 4		電解質バラン	/ ス					
	11	泌尿器	景と体液調整 5		酸・塩基平衡	Ī					
	12	脳と神	≢経 1		ニューロンの	構成と活動電位、	シナプス伝	達・小テスト			
	13	脳と神	≢経 2		脳と脊髄の棒	 5造と機能					
	14	脳と神	≢経 3		体性神経の構成と機能						
	15	脳と神	津経 4		自律神経の構						

授業科目	動物形態機能学Ⅲ	担当教員	岩崎 忍		動物病院
汉朱竹口	יין די או או אין אין עון נע נ ווו	実務 経験	有:■	無:□	שנא פאז נגין נעב
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	動物形態	態機能等	学IV		担当教員	岩崎 忍					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	両学科2年・後	必任	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数	15 回	時間数	30 時間			
授業目的		動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。									
到達目標	感覚器	感覚器官と情報伝達、内分泌とホルモンについて理解する。									
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 1 巻 動物形態機能学/動物繁殖学										
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー	-		評価語	式験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		\$\frac{1}{5} : 30\%						
	提出物										
履修上の	C 07 IB										
留意事項							九宓				
履修主題・ 履修内容	1	成骨)			感覚系と受容器、閾値						
	2		- 情報伝達 1 - 情報伝達 2								
	3		- 旧報伝達 2 - 情報伝達 3		本性感見、味見、嗅見 耳の構造と機能						
	4		- 旧報伝達 3 - 情報伝達 4								
	5		- 旧報伝達 4 - 情報伝達 5		聴覚と平衡感覚						
	6		- 旧報伝達 5 - 情報伝達 6		眼の構造と機能						
	7	生殖器	- 117 17/12 -		視覚・小テスト 大、猫の雄の生殖器						
	8	生殖器			犬、猫の雌の						
	9		<u> </u>			^ <u></u>	- スト				
	10		じとホルモン 2 必とホルモン 2		内分泌臓器の		7(1				
	11		必とホルモン 3			· (1) (ペプチド、ス	ニーニー ニーニー	アミン系)			
	12		じとホルモン 4 必とホルモン 4								
	13		ドンボルモン 5 ドとホルモン 5		各種ホルモン② (ペプチド、ステロイド、アミン系) 各種ホルモン③ (ペプチド、ステロイド、アミン系)						
	14		必とホルモン 6		谷僅						
	15		必とホルモン 7				2 7 2 1				
	1	1 3 73 72			1 ,						

授業科目	動物形態機能学IV	担当教員	岩崎 忍		動物病院
	יין ניין פוואמואפירערען פעב	実務 経験	有:■	無:□	250 155 / 1510
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年 · 後期	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	動物薬	理学丨			担当教員	中村 匡佑				
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	両学科2年・後	必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態	743				授業回数	15 回	時間数	30 時間		
授業目的			D体内動態と作用 こ用いられるかを			副作用について学	び、動物の独	- 実病の判断や治		
到達目標	薬理の	基礎と、	呼吸器系、消化	2器系、	神経系の薬物	について理解する	0			
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	物看護的	 あリキュラム準	■拠教和	斗書シリーズ 2	巻 動物病理学/重	助物薬理学			
	評価に	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・	レポー			評価記	式験:70%					
評価基準	小テス	<u> </u>	30							
	提出物									
 履修上の	その他									
留意事項										
履修主題・			履修主題			履修P	容			
履修内容	1	愛玩動の取り	か物看護師による リ扱い	薬物	薬理学概論					
	2	動物薬	薬理学の基礎 1		薬と薬理作用(発現機序)					
	3	動物薬	薬理学の基礎 2		剤形と投与方法					
	4	動物薬	薬理学の基礎 3		薬の動態					
	5	動物薬	薬理学の基礎 4		薬効の因子と有害作用					
	6	呼吸器	景系 1		呼吸興奮薬、鎮咳薬					
	7	呼吸器	景系 2		抗喘息薬					
	8	消化器	景系 1		制吐薬、催吐薬、小テスト					
	9	消化器	景系 2		止瀉薬、瀉下	· 薬				
	10	消化器	景系 3		その他の消化器に関わる薬					
	11	神経系	½ 1		神経系の基本					
	12	神経系	Æ 2		全身麻酔薬					
	13	神経系	4 3		局所麻酔薬					
	14	神経系	A 4		鎮痛薬、鎮静薬					
	15	神経系	<u> </u>		その他の神経	経系に関わる薬、 小	トテスト			

授業科目	動物薬理学Ⅰ	担当教員	中村	匡体	i i	動物病院
及水平百	ガルネイナー	実務 経験	有:▮		無:□	שמניזנגו נפּב
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物栄養	養学		1	担当教員	佐藤 真帆				
対象年次・学期	愛玩動物 期	勿看護的	市学科2年・前	必修	・選択区分	必修	単位数			
授業形態	743			ł	受業回数	15 回	時間数	30 時間		
授業目的			その代謝など基礎 冷給餌方法などを			に、ライフステー	ジや疾患ごる	との違い、各種		
到達目標	基礎栄養	養と栄養	養要求量、フード	につい	て理解する。					
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物			拠教科	書シリーズ8	巻 動物栄養学 <i>/</i>	動物外科看記	養学/動物医療		
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・ 評価基準	レポー		30	評価試						
可脚坐牛	サラス 提出物	Γ	0	小テス	ト:30%					
	その他		0							
履修上の 留意事項			- 1							
履修主題・			履修主題			履修内	容			
履修内容	1		总養学 1		5 大栄養素と	は				
	2	基礎的	总養学 2		消化器の構造、消化・吸収の仕組み					
	3	基礎第	△養素 1		たんぱく質とは					
	4	基礎第	⋛養素 2		炭水化物とは					
	5	基礎第			脂質とは					
	6				ビタミンとは					
	7	基礎兒	总養素 5		ミネラルとは					
	8	基礎第	关養学 3		食性、嗜好、嗜好性、摂食行動、小テスト					
	9	栄養要	要求量 1		栄養基準とは	t				
	10		長求量 2		エネルギー要					
	11		要求量 3		計算方法					
	12		トフード学 1		ペットフート	*の種類、分類・小	トテスト			
	13		トフード学 2		ラベル表示の理解					
	14		、フード学 3		中毒、給餌不	可食品				
	15	ペット	、フード学 4		栄養状態評価	話と肥満に関して・	小テスト			

授業科目	動物栄養学	担当教員	佐藤	真帆		動物病院
1又未行口	划700不设于	実務 経験	有:▮		無:□	当 月 12月 12月 12日
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年·前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	動物栄養	養学				担当教員	佐藤 真帆				
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	師学科 2	!年・後	必任	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態						授業回数	15 回	時間数	30 時間		
授業目的				対など基礎 i法などを			に、ライフステー	・ジや疾患ご	との違い、各種		
到達目標	ライフ	ステージ	ジごとの	栄養管理	里と、羽	実病と栄養の関	わりを理解する。				
テキスト・ 参考図書等											
	評価に	方法	評価害	割合(%)			評価基準				
	試験			70							
評価方法・	レポー				評価	式験:70%					
評価基準	小テス	<u> </u>		30		^{皿 記} 表・70% テスト:30%					
	提出物				-						
 履修上の	その他	その他									
留意事項											
履修主題・				主題			履修區	内容			
履修内容	1	ライフ 理 1	フステー	・ジ別の第	後養管	哺乳期・離乳	上期の栄養管理				
	2	理 2)	- ジ別の弟		成長期・維持期の栄養管理					
	3	理 3	3	- ジ別の第		妊娠・授乳期の栄養管理					
	4	ライフ 理 4	フステー	- ジ別の第	養管	高齢期の栄養管理					
	5	ライフ 理 5		・ジ別の弟	養管	ライフステージに合わせた手作り食での栄養管理					
	6	疾病	ヒ栄養	1		アレルギーの食事療法・小テスト					
	7	疾病	ヒ栄養	2		尿路疾患の食事療法					
	8	疾病	と栄養	3		消化器疾患の	食事療法				
	9	疾病	ヒ栄養	4		腎不全の食事	療法				
	10	疾病	ヒ栄養	5		糖尿病の食事療法					
	11	疾病	ヒ栄養	6		口腔疾患の食事療法					
	12	疾病	ヒ栄養	7		肝疾患の食事	事療法				
	13	疾病	ヒ栄養	8		心疾患の食事療法・小テスト					
	14	強制約 1	合餌経管	・静脈弟	美法	強制給餌の方	法と注意点				
	15	強制約 3	合餌経管	・静脈弟	(養法	チューブ、カテーテルの設置手順と管理法・小テスト					

授業科目	動物栄養学Ⅱ	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
投 条付日	划彻不侵于Ⅱ	実務 経験	有:▮	■ 無:	划仍仍仍
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年 · 後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			